

証券コード:5013

 ユシロ化学工業株式会社

第87期

報告書

2019年4月1日 → 2020年3月31日

The Way Of Mutual Progress

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第87期の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

大胡 新一

連結財務ハイライト

売上高



営業利益



経常利益



事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦による中国経済の減速そして英国のEU離脱等による影響で不透明感が増している中、新型コロナウイルスの影響が中国から北米、欧州、アジアなどへ広がったことにより、減速に転じていきました。また日本経済は、消費増税や台風等の影響から2020年の年明け以降回復が期待されておりましたが、米中貿易摩擦、新型コロナウイルスの影響も加わり一段と落ち込みました。

このような環境下、一昨年8月から当社グループの一員となった米国QualiChem社の影響もあり売上高は前期比6.0%増の37,274百万円となりました。また、営業利益は前期比6.6%増の2,213百万円、経常利益は前期比3.2%増の2,718百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比10.9%増の1,913百万円となりました。

今後の経済見通しは、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くと見込まれ、感染症の拡大が世界経済を更に下振れさせるリスクも懸念されます。

この様な状況下、現時点において今後の業績予想を合理的に算定することが困難であるため、連結業績予想は未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

利益分配に関する基本方針 及び当期の配当

当社は、グローバルな事業展開及び連結業績を勘案した利益還元を当社の利益分配に関する基本方針としており、株主の皆様に対しても企業価値向上の為の設備投資を考慮した上で利益還元することとしております。

期末配当金につきましては、2020年3月期業績を踏まえ、1株につき28円とすることを決議いたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて48円となります。

親会社株主に帰属する当期純利益／ 1株当たり当期純利益



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当額／配当性向



◎セグメント情報 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

セグメント ハイライト

売上高構成比において、日本セグメントが45.8%となり、売上高全体に対して海外が占める割合が南北アメリカセグメントにおいては、2018年8月に当社グループの一員となった米国QualiChem,

日本



国内の自動車生産台数は非常に厳しい状態が続いており、また米国及び中国向けの自動車部品の輸出についても減少しております。その結果セグメント売上高は前期比4.9%減の17,078百万円となりました。

セグメント利益は前期比8.7%減の759百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロ運送株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
- 日本シー・ビー・ケミカル株式会社

南北アメリカ



既存のアメリカ・ユシロは日系自動車メーカーの生産減の影響で前期の売上高を下回りました。また、ブラジル・ユシロは製品の価格改定及び国内の自動車生産台数が堅調に推移している影響で現地通貨ベースでは増収も換算為替の影響で円貨ベースでは減収となりました。しかし、メキシコ・ユシロは自動車生産台数が減少しているものの既存顧客のシェア拡大により増収、また一昨年8月から当社グループの一員となったQualiChem社の実績によりセグメント売上高は前期比49.7%増の11,280百万円と前期を大きく上回りました。

セグメント利益もQualiChem社の利益貢献及び昨年赤字であったブラジル・ユシロの黒字化により前期比148.8%増の985百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc. [米国]
- QualiChem, Inc. [米国]
- ユシロドブラジルインダストリアケミカLtda. [ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V. [メキシコ]

持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

50%を超えました。

Inc.の寄与により、売上高及びセグメント利益が前期を大きく上回りました。

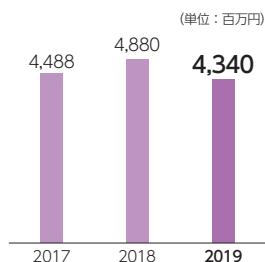
中国



米中貿易摩擦の影響等により自動車生産台数が減少しており、その結果セグメント売上高は前期比11.1%減の4,340百万円となりました。

セグメント利益は、原材料価格の高騰及び人件費の上昇が続いている影響により前期比34.9%減の287百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 啓東尤希路化学工業有限公司[中国]
- 広州尤希路油剤有限公司[中国]
- 泰興西碧化学有限公司[中国]

東南アジア インド



米中貿易摩擦による自動車生産台数の減少及び自動車部品の輸出が低迷している影響もありタイ・ユシロ及びマレーシア・ユシロは減収となりました。またインド・ユシロも新型コロナウイルスの影響等により減収となりましたが、インドネシア・ユシロは、国内の自動車生産台数は減少したものの既存顧客のシェア拡大により増収となりました。その結果、セグメント売上高は前期比4.4%減の4,575百万円となりました。

セグメント利益は、減収による影響はありましたがタイ・ユシロでの費用削減等により前期比10.9%増の593百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

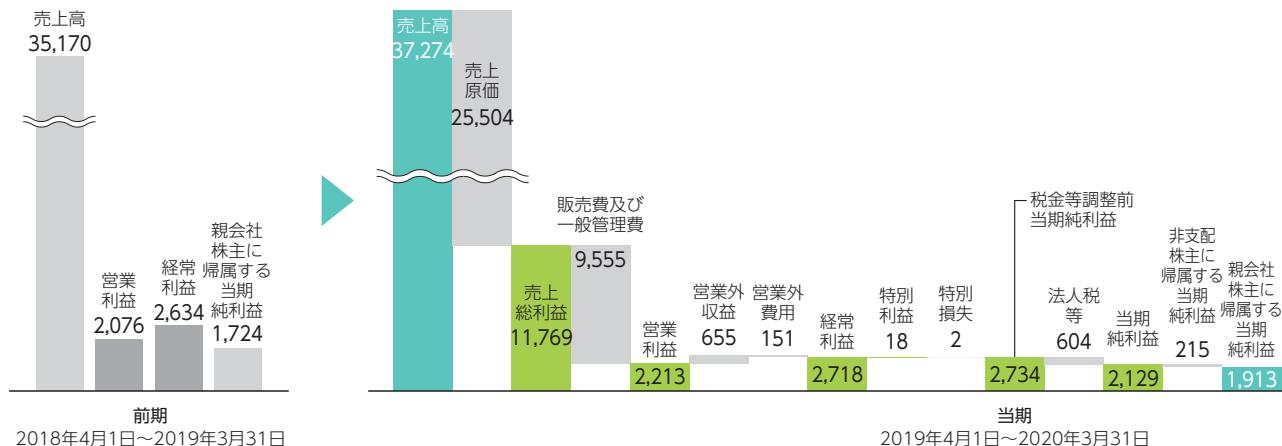
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- Siam Cee-Bee Chemical Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

◎連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

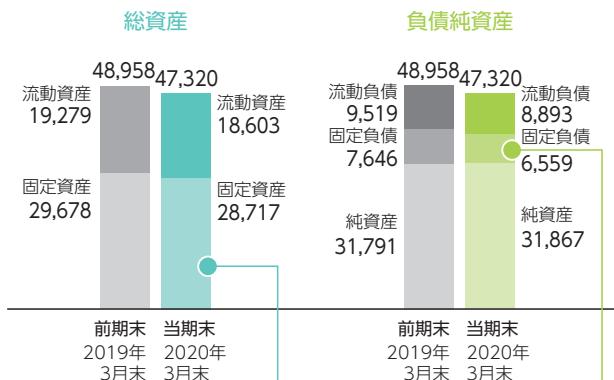
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



POINT

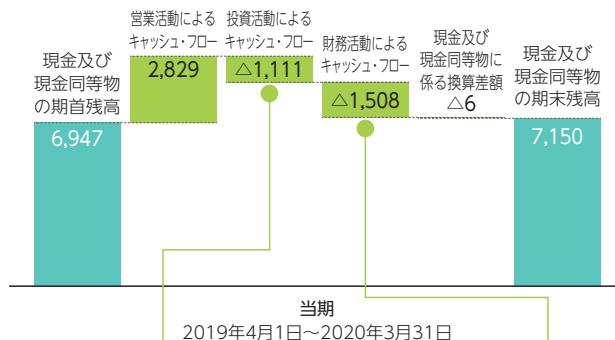
固定資産は「投資有価証券」が減少したこと等により960百万円減少しました。

POINT

固定負債は「長期借入金」が減少したこと等により1,087百万円減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

投資活動によるキャッシュ・フローは「有形固定資産の取得による支出」814百万円等により支出超過となりました。

POINT

財務活動によるキャッシュ・フローは「長期借入金の返済による支出」876百万円、「配当金の支払額」610百万円等により支出超過となりました。

◎ 会社概要・株式の状況 (2020年3月31日現在)

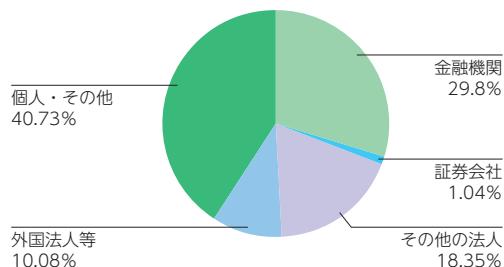
■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	305名(連結1,017名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,126名

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
公 告 方 法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.yushiro.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故その他やむを得ない 事由によって電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,057	7.78
ユシロ化学工業取引先持株会	870	6.41
株式会社三井住友銀行	622	4.58
スズキ株式会社	549	4.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	546	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	468	3.45
ユシロ化学工業従業員持株会	336	2.47
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
ビービーエイチ ポストン フォー ノムラ ジャパン スモーカー キャピタライゼーション ファンド 620065	286	2.11
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10

※当社は、自己株式322千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

ホームページのご案内

最新ニュース、決算情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載していますので、ご利用ください。

ユシロ化学工業

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



New

会社案内ビデオ



当社の事業をよりご理解頂けるよう、新たに会社案内ビデオを掲載いたしました。ぜひ一度ご高覧ください。



単元未満株式を ご所有の株主様へ

単元未満株式(1~99株)については市場で売買することができませんが、口座管理機関(証券会社等)*を通じて、当社に対して**買取請求(売却)**をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関にお問い合わせください。

※特別口座に記録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

(例) 株主様が60株ご所有の場合
【買取請求(売却)の場合】



特別口座を ご利用の株主様へ

特別口座に記録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設及び特別口座からの振替手続きをお勧めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

【口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)連絡先 0120-232-711】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **ユシロ化学工業株式会社**

URL <https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまらぐいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。